

解は動き荷あげに

624名 漸く活氣の色浮ぶ

罷業團の結束堅いが

募集人夫の従業で助かる

小樽全港のストライキも、罷業團と資本家側との形式を取つて、罷業團と共に強硬なる意見を主張し、罷業する状態にあるが、資本家側も、もゆるがせにすべきものにあらずと、罷業労働者に關係なく各地より人夫を募集して来て居るが、これが爲めに二十三日前の港は數日に見ざる活氣を見舞ふの如きは百二十三十艘罷き艦隊の船隻は艦隊との

罷業の出は、手つして連絡出来た。罷業交通は不便ながらも回復した。船員は食糧も不足せず、仲仕等にて、罷業に従事し居るものは、此際調査に、これに千五百名を數ふるに至つたが、未だ

中絶の姿 には、依然として、仲仕でこの方面は依然恢復しない。轉じて、右方面は各現場共に一時は非常に困つたが、二十三日前の形勢によれば、罷業を裏切つて罷業したものが、未だ

たものは百名以上ある由で、この方も、曲りなりに、作業者には、安んじたい。然し、この人は千五百名の大半は、地方よりの募集人夫である。罷業団の結束は、破れざるも、地方が漸次復活せば、自然罷業者より失業者を出すに至るは、明かぬ事 實なるを以て、この點については、此助にても、甚だの形勢を眺むる状態である。

罷業幹部が手分して

624名 現場當業者に交渉

案外の態度強硬に更に昨夜 深更迄指令部で對策を協議

罷業を擴大せる小樽全港の労働者、指令部では、廿三日正午、案外各幹部を招集し、各現場に對し交渉を指示するに決し、罷業幹部は、食糧も不足せず、仲仕等は、資本家側は、案外、近頃、指令部正午、案外、各現場の如く、三井石炭部の各地方、深更まで協議を續けた。

へて各々交渉する處あつたが、資本家側の態度は、意外にも強硬であつて、前記者委員は何れも午後六時より八時までとせよ、本部に提言されたが、指令部では、各交渉委員の強硬なるを、取し、これが對策につき、深更まで協議を續けた。

黙つて復歸せよ

629名 他はその上の事

當業者側の腹は 大体こんなどころ

案外、各現場の労働者を受けた。要求を解決したき方針であるが、當業者側の態度は、意外にも強硬で、意味を通じたる由である。若し、あつて既に大體の確信があるもの、業者側も何れも左の如き意思を有するもの、小樽全港の如きは、交渉員に對し、罷業者にして復歸す側の出陣にして、その間多少のものは、何事もなく復歸就業せしめ、然る後、漸次に折衝を重ねてその如き模様である。

地方からの募集人夫で

兎も角作業繼續

大仕事をかけた行庫、仲仕、は、受くるとしても、全港を、する如く、罷業、各現場の當業者、前後、二回、互ひに協議せるも、結局は、各現場の作業が、一度せざるは、何れも、出づる筈であるが、何れも現在の情勢、地方より募集し、手つして、交渉を續けて居る時の状態にて、進め、手つして、進む由。